

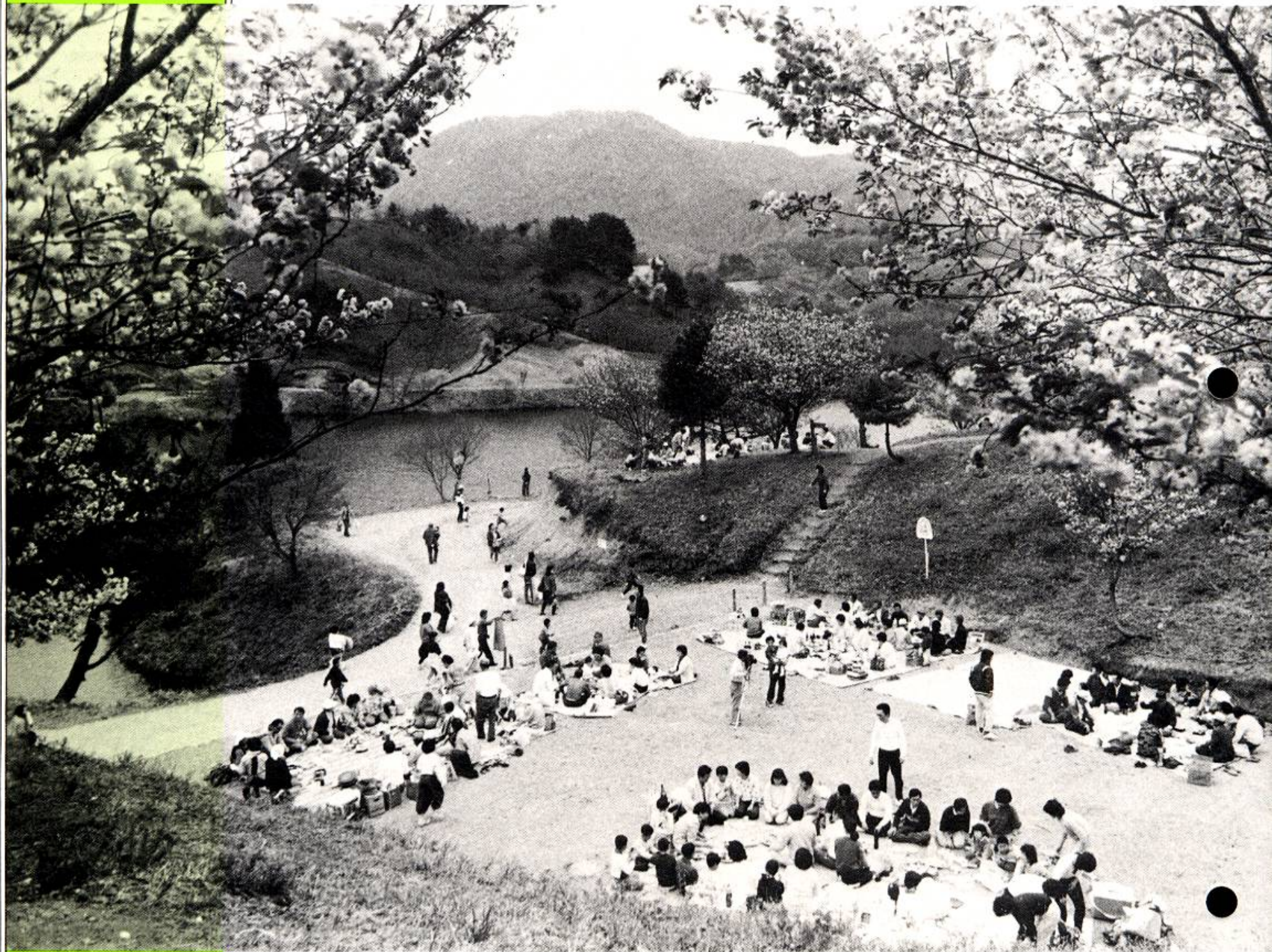


—町のスローガン—

豊かな自然みんなで

拓く町 伸びる町

- 黄桜まつり……………2・3
- 袖山館オープン……………4・5
- 好調です、仔牛の市場価格……………6
- 縁組世話人報奨制度・世話人第1号…8
- まちの話題……………10・11



広報

黄桜まつりに
どっと4,000人

5月9日、10日に町民いこいの森で行われた「黄桜まつり」は好天に恵まれ、延べ4千人を超す人出でにぎわいました。約千本の桜のうちソメイヨシノは散ってしまったものの、10本余りの黄桜と6百本の八重桜はみごとに咲き誇り、訪れた人々の心をなごませてくれました。（記事を2、3面に掲載しています）

6月

いがしゆり

No.387

題字 / 佐々木青洋氏（東由利町出身）

町の一大イベント 黄桜まつり

4千人が 自然満喫

「黄桜まつり」は「大平雪まつり」と並ぶ本町二大観光行事の一つで、今年で第三回目を数えます。

今年のイベントはディスコタイム、カラオケ大会、素人モデル撮影会、地酒きき酒コンクール、炭焼き実演などで、このほか商工会青年部・婦人部が由利牛のバーベキュー、ヤマメの塩焼き、農協婦人部が山菜や農産加工品、連合青年会と今年成人を迎える青年グループが焼きとり、いか焼き、わたあめなどを販売し会場を盛り上げました。今年には好天に恵まれ、初日に約千二百人、二日目には二千八



人出のピークは2日目の11～16時。ふだん人影のないここも、町民の約7割の人出でにぎわった。



美女3人が登場し好評を博した「素人モデル撮影会」



珍しい「炭焼き」を、八塩山麓会員らが顔中炭まみれになりながら実演

百人の人々が会場に足を運び、これまでにないにぎわいを見せました。このため町観光協会では役場職員二十人の協力を得て、会場への車の乗入れを規制するなど安全確保に努めた結果、規制の一部から非難があったものの花見客の大半は「ほこりが立たなくていい」「安全が保てる」などと喜んでいました。

会場の黄桜は現在十二本ですが、町が田代、黒淵地区住民の協力を得ながら今年新たに黄桜百本と八重桜百二十本を植樹、周辺道路も整備中であることから今後、町民のいいこの場としての充実にますます期待が寄せられます。

2日間で、宴会のグループは大小あわせておよそ60組。その一部のグループの宴会風景をご紹介します。





文句なしに「おいしかった」、名物「由利牛のバーベキュー」



一番苦労した「裏方さん」。2日間おいしいもの「ごちそうさまでした」

採りたての山菜や笹巻きなど、「ふるさとの味」を農協婦人部が即売



清酒「黄桜」はどれかな…。秋田市からもかけつけた「地酒きき酒コンクール」



カラオケ大会では「八塩芸能倶楽部」も飛入り熱演、会場の盛り上げに一役買いました。



春の生存者

叙勲

佐藤、太田の2氏に

六十二年春の叙勲で、学校教育に功勞のあつた佐藤松之助氏に勲五等双光旭日章が、消防に功勞のあつた太田千代三氏に勲六等瑞宝章が贈られました。

佐藤氏は、昭和十七年に玉米村玉米国民学校教頭として奉職以来二十四年間本町学校教育の

勲五等双光旭日章
佐藤松之助氏・79歳

館合字滝の沢55

勲六等瑞宝章
太田千代三氏・67歳

蔵字新田83



太田氏は、昭和二十年下郷村警防団員を拝命以来三十一年にわたって消防任務に携わり、副分団長、分団長を経て昭和四十一年には副団長となり消防行政の推進発展に尽くされました。また、昭和三十七年から九年間村農業委員会委員として活躍されたほか、同五十二年には民生委員に選ばれ地域福祉の向上に貢献されています。

町出身高橋氏が勲四等瑞宝章に

町出身者の高橋重雄氏(七十



高橋重雄氏

一歳・神奈川県横浜市鶴見区駒岡町三二七一一)が、このたびの春の叙勲で勲四等瑞宝章を受章されました。

高橋氏は蔵の出身で現在金属のプレス加工を中心とする株式会社ハネダ(本社・工場 東京都大田区)の取締役社長としてご活躍をなされており、プレス工業界の発展など産業振興に大

きく貢献されています。

また、氏は第一回村功勞者で、昭和三十五年蔵小学校に校内放送施設を、同校及び下郷中学校に視聴覚教育施設を寄贈するなど、本町教育施設の充実に多大な功績を残されています。

高橋氏から「ふるさとへのたより」へご寄稿いただいておりますので、ぜひご覧ください。



袖山館オープン

昨年七月から旧袖山小跡地に建設が進められていた袖山地区多目的研修施設が「袖山館」としてこのほどオープン、竣工式は五月二十八日地域住民をはじめ町、工事関係者ら百人が出席して行われました。

「袖山館」は床面積二百五十八・五平方メートルの鉄筋コンクリート平屋無落雪構造で、建設工事費は外溝工事を含め約五千六百四十万円。四十八畳の多目的ホールをはじめロビー、

設計されているなど、今後、袖山、大吹川、須郷地区四十六世帯二百人余のコミュニティ活動拠点施設として、親しまれながら、幅広く活用されていくものと思われま

研修室、生活改善実習室などが設けられています。

山間部の意識を打破させるモダンなデザインの館は山間に美しく映え、間取りも周辺の景観が目に入るよう



地場産業の振興に期待

林産物処理加工施設が稼動

昨年十一月横渡に着工した町森林組合「林産物処理加工施設」が今年三月で完成、四月から稼動しています。現在、木材乾



4月から稼動している林産物処理加工施設

燥を主に町内製材業者などが利用していますが、今後は桐、けやき、とちなど本町特産林産物の一次加工、製品加工が行われる見込みで、町内産原木の安定購入による林業の所得向上と、木工・工芸品の製造販売による地場産業の振興、特産品の開発、

さらには雇用の場の確保に期待が寄せられています。

各種機材を設備

同施設は、第三期山村振興農林漁業対策事業で町森林組合が事業主体となり建設したもので、事業費二千二百四十七万五千円のうち半分が国庫補助、残る分の八十割が制度資金の借入れ、残額が町の補助となっています。

施設の面積は一階床面積約百二十三平方メートル、二階同八十二平方メートルで、木材乾燥機、強力ボール盤、手押かん盤、自動一面かん盤、特殊万能まるのこ盤、木工ろくろ、木工旋盤が設備されているほか、別に町貸与の貯木場約八百平方メートルが設けられています。

老方前堤の整備完了

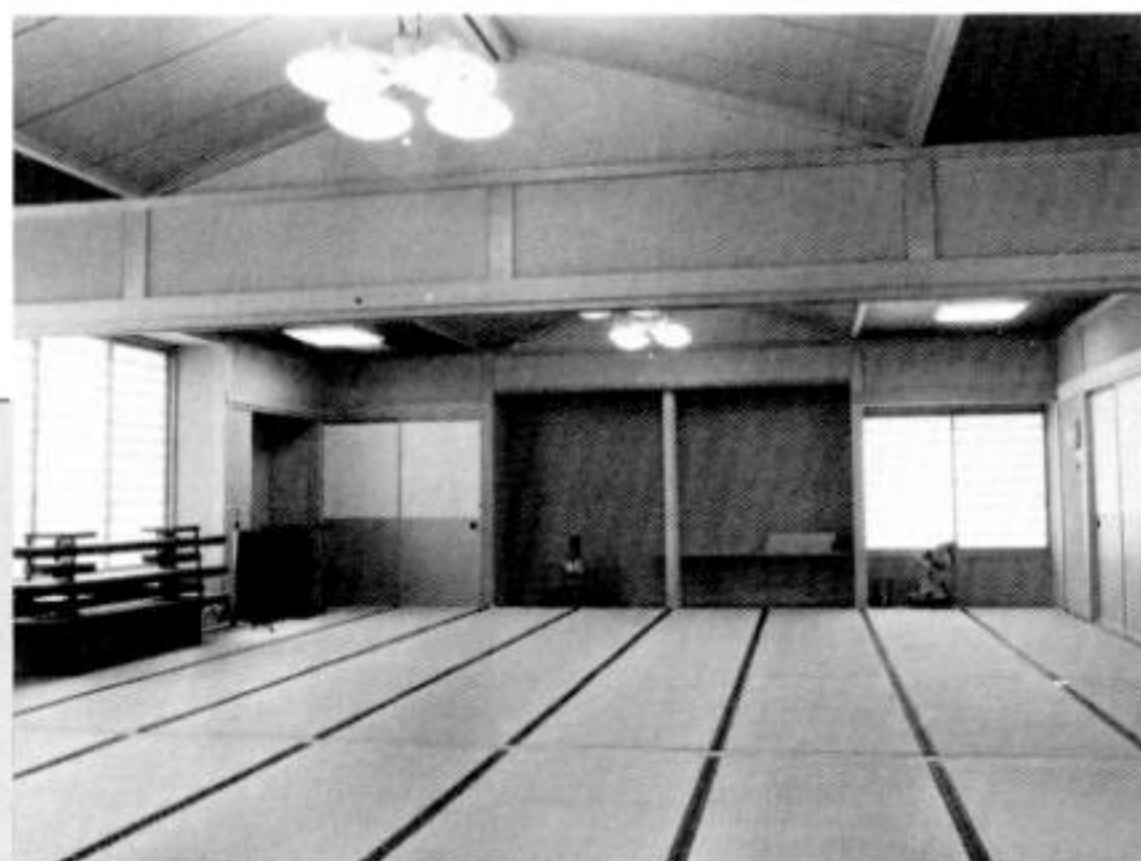
今後も小公園化を推進

まえつつみ

整備され美しく生れ変わった老方前堤

県単小規模土地改良事業で昨年九月から整備が進められていた老方前堤（新町）の改良工事が、このほど完了しました。同堤は、かんがい用溜め池として利用されているものですが、集落内にあり未整備のままでは美観を損ねるとして地域から小公園化を兼ねた整備の要望が出されていたものです。

整備され美しく生れ変わった同堤一角には桜もあり、花見など地域の人たちのいこの場として利用されていますが、町では小公園としての整備を今後も進めていくことにしています。



多目的ホール

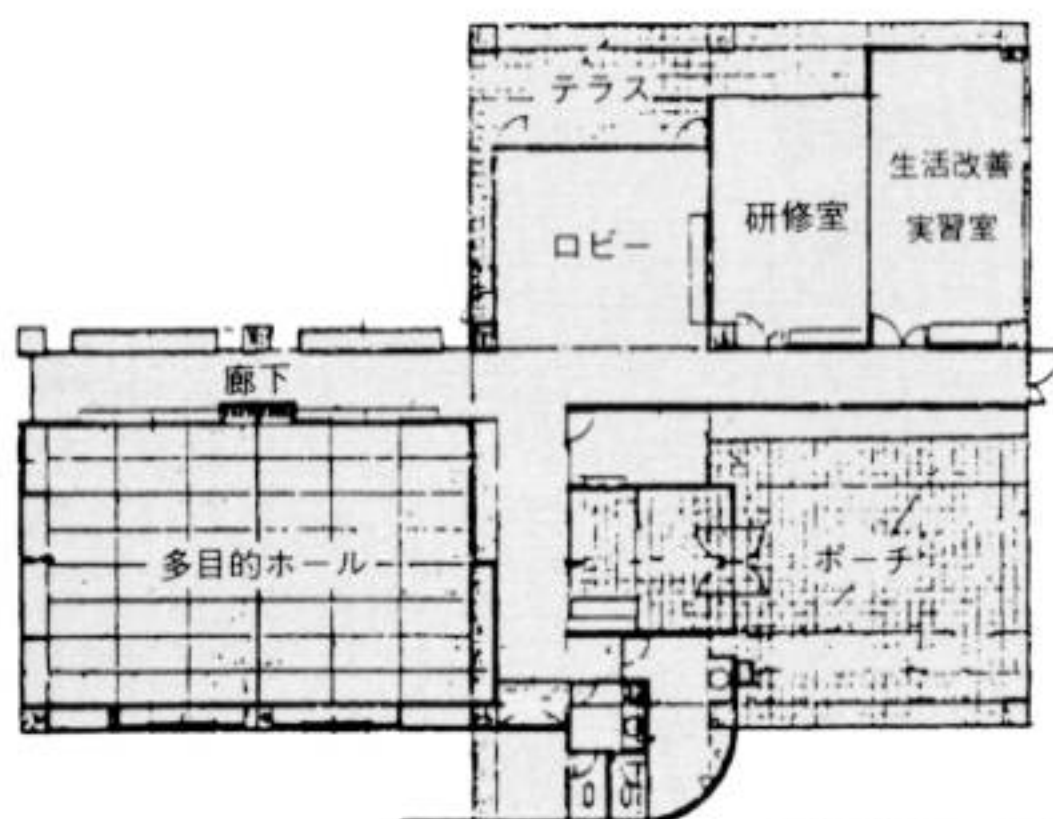


研修室



生活改善実習室

ロビー



「袖山館」平面図

ゲートボールコート

好調です！ 仔牛の市場価格

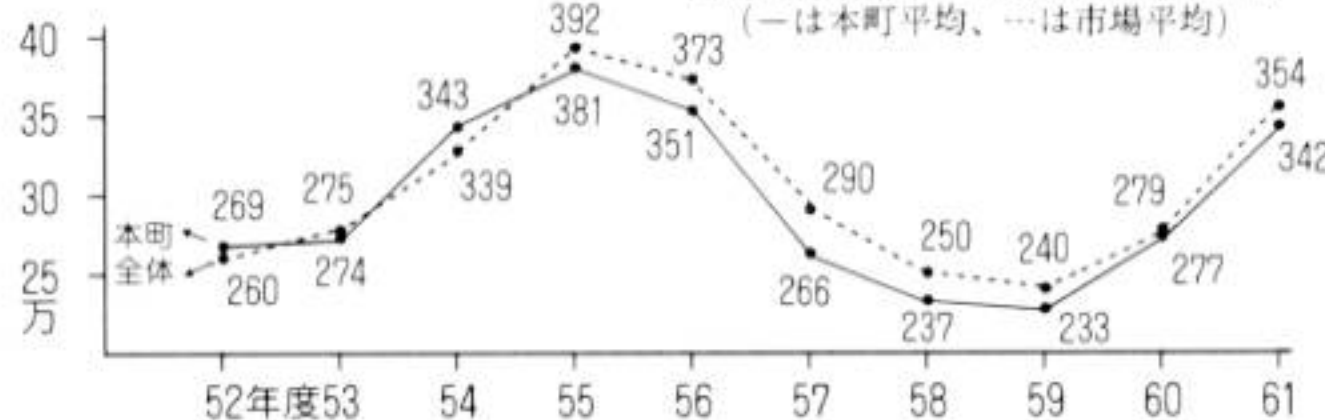
5月市場の1頭平均価格は 前年より8万円以上アップ

由利家畜市場（本荘市石脇）



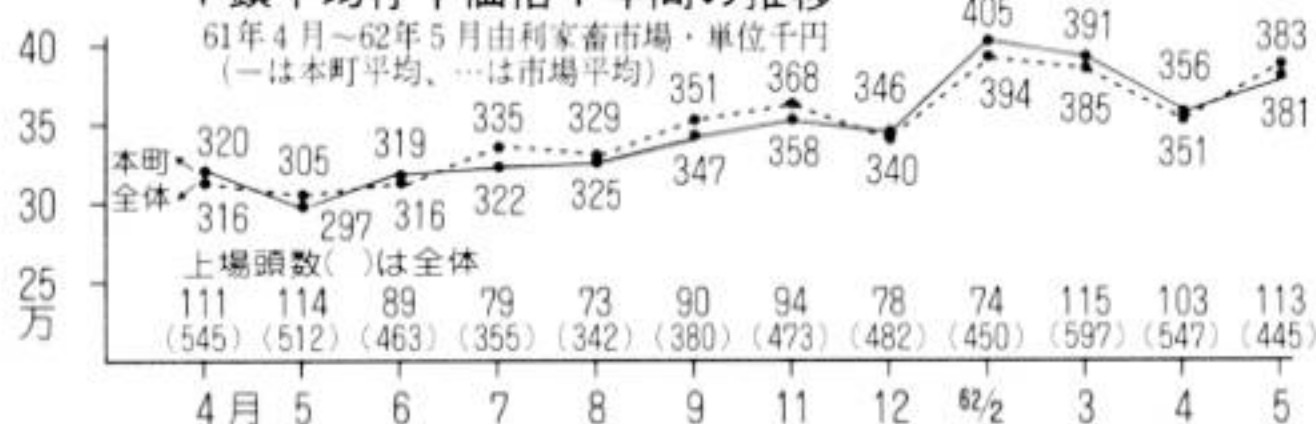
過去10年間仔牛1頭平均価格の動向

由利家畜市場年間平均数値・単位千円
(—は本町平均、---は市場平均)



1頭平均仔牛価格1年間の推移

61年4月～62年5月由利家畜市場・単位千円
(—は本町平均、---は市場平均)



肉用牛の仔牛を取り引きする由利家畜市場が五月八日、九日本荘市石脇の同市場で開かれ、本町上場の仔牛では一頭平均価格が昨年同期より八万四千円高い値段で取引されました。

今回の市場には昨年同期より六十八頭少ない四百四十五頭が上場、本町からも百十三頭が上場され最高値に五十六万七千円がついたほか、四十万円の大会を超える仔牛が五十頭も出るなどかつてない記録となりました。

仔牛価格は、一、三年前には牛肉の輸入自由化問題のあおりをまともに受けて低落、五十九年には一頭平均価格が二十三万円まで落ち込むなど、畜産農家は深刻な経営危機に見舞われました。しかし、その後畜産農家の減少による生産頭数の減少などによって上場頭数が減り市場での価格が上昇、しかも、国際経済としての「円高」による影響で飼料代の値が下がったことなどで、昨年始めころから仔牛生産の経営が安定の兆しを見せています。

「由利牛の里」として畜産の振興に力を入れている本町にとつてこうした状況はうれしいことですが、今後価格の変動も予測され、大幅な下落とならないよう安定した仔牛価格の保持が望まれるところです。

「ご声援をお願いします」 女性の交通指導隊員誕生

町では、任期切れにともない新たに交通指導隊員六人を委嘱しました。このうち四人は再委嘱で、二人については本町で初めて女性が委嘱されました。

女性隊員に委嘱されたのは大日向操子さん（宮の前）と遠藤正子さん（家の下）で、



女性交通指導隊員の大日向さん（左）と遠藤さん（右）

二人とも町交通安全母の会の会員としても活躍している交通安全の実践者です。「これまでの経験を活かし交通事故のない明るい町づくりにがんばります」と張り切っていますのでみなさんのご声援をお願いします。再委嘱された隊員は次のとおりです。

みなさんの暖かいご支援をよろしく願います。

◇◇◇
谷口圭一さん（隊長・上通）、小野義雄さん（中通）、大庭時晴さん（舟木）、古関金雄さん（松柴）

出稼ぎ就労状況など交換 無事故の帰省喜び「出稼ぎ反省会」を開催

出稼ぎ反省会（写真）が四月三十日有鄰館で開かれ、今季出稼ぎ者五百三十人のうち約二十割にあたる百五十人が参加、無事故の帰省を喜びあうとともに就労状況の交換などを行いました。

同反省会では、グループの全員が安全就労に努め他の模範となつて就労してきた国広水産（株）（広島県）就労のグル

ープ（リーダー小松安雄さんほか五人）に、畠山町長が表彰状を贈呈。あいさつや祝辞に続いて、出稼ぎ就労者を代表し水産会社就労の小松安雄さんが「カキの加工で仕事は楽だったが健康には十分注意した」、建設会社就労の佐藤昇さんが「漁業が不振で北海道からの就労者が多かった」など就労状況について交換をしました。このあと町側

一般会計下半期(10～3月)財政状況報告

最終予算額は **24億5,922万5千円**

—当初予算より15.6%増—

下半期歳出補正の主なものは、林産物処理加工施設整備事業費補助金1,348万5千円、後年度の財政需要に備えた財調積立金 2,267万9千円、暖冬による冬期交通対策費 626万円の減額などで、歳入補正では林産物処理加工施設県補助金 1,123万7千円、公定歩合再引き下げにともなう財産運用収入利子分 366万8千円減額などとなっています。

厳しい国の財政事情の中で唯一の依存財源である地方交付税は、公共土木災害や普通建設事業費の増加にともない、特別財政需要に補てんされる特別交付税の伸びもあり、対前年比4,430万円増の3.9%の伸びとなっています。

●収入済額 1,991,602千円 (収入率81%)

項 目	最終予算額	収支済額	構成比
町 税	197,471	210,881	10.6%
地方譲与税	32,379	19,638	1.0
地方交付税	1,158,342	1,177,416	59.1
国庫支出金	224,507	100,316	5.0
県支出金	338,131	222,915	11.2
繰入金	10,060	0	—
繰越金	70,699	100,564	5.0
町 債	301,300	25,200	1.3
その他	126,336	134,672	6.8

●支出済額 2,099,850千円 (支出率85.4%)

議 会 費	61,234	60,671	2.9%
総務費	291,931	239,970	11.4
民生費	184,966	166,537	7.9
衛生費	120,119	97,388	4.6
労働費	50,193	47,899	2.3
農林水産業費	688,747	600,897	28.6
商工費	9,502	8,962	0.4
土木費	195,425	159,709	7.6
消防費	101,400	96,247	4.6
教育費	197,219	173,159	8.2
災害復旧費	172,850	66,606	3.2
公債費	382,529	381,805	18.2
諸支出金	110	0	—
予備費	3,000	0	—

●公債費現在高

2,613,681千円(うち交付税等の措置分は51%)

●町の財産

- ▶土地・11,662,589㎡ ▶建物・30,048㎡
- ▶有価証券・313千円 ▶自動車等・37台
- ▶出資による権利・9,748千円
- ▶基金・524,533千円 (うち財政調整基金・318,495千円)



鈴木畜産振興指導員

1、全国的に和牛飼育頭数が伸び悩んでいる。
2、配合飼料が再び値下りの気配を示している。
3、国としては必要牛肉量の七十割は国内産でまかないたいとしている。
4、肥育農家の経営状態がどうか。
5、いわゆる千日上りの千日下りといわれる価格の周期説。
6、高級和牛肉のほか、安値な牛肉、赤肉志向など消費者ニーズが多様化している。
7、外国との牛肉輸入問題。
8、世界的に論議されている農業問題と揺れ動く日本農業。

東由利町は、よそにまさる畜産環境を持つております。仔牛価格の変動に耐えうる経済感覚を持ち、そして購買者に喜ばれる和牛仔牛を生産し名実共に「由利牛の里」にしたいと思えます。

「価格変動に耐えうる経済感覚を」
仔牛価格今後の動向をさぐり

東由利町畜産振興指導員 鈴木 龍太郎

なかでも、島根県畜産会の青木精吉氏が「これ以上高騰しないだろう。秋頃まではこのまま推移するかもしれない。ただ、肥育農家が高い素牛を肥育牛として出荷する今年末から来春にかけて、価格の変動が訪れる可能性はある。生産・肥育双方ともになり立つ適切な相場を望む」という発表が参考になるようです。

高値水準で推移している和牛仔牛価格の、今後の動向がどうなるのか、和牛飼育者のみなさんはもとより、関係者一同の関心のあるところだ。

今後の価格を考えるうえで必要なのは、和牛を取り巻く主な環境を並べてみようと、次のようになります。

の間(非常にあいまいであるが)は現状維持との見方が大方であります。



渡辺秋雄さん

気軽に相談を：
出稼ぎ相談員に
渡辺さんを委嘱

出稼ぎの安全就労や事故対策に資するため、本町には三

人の出稼ぎ相談員が設置されていますが、このほど、これまで同相談員として活躍してこられた三浦彦次さん(田代)が退任、代って渡辺秋雄さん(田代)が選ばれました。渡辺さんは県農業転職相談員も兼ねていて、就業等に関しての相談相手として気軽に活用ください。なお、本町に出稼ぎ相談員は渡辺さんのほか、遠藤一さん(宿・県農業転職相談員兼)と、遠藤三郎さん(小倉・民生委員総務)です。

から、所得税の算定基準となる源泉徴収票について、提出の徹底を図り申告の適正化に努めることを説明、懇親会に入りました。





高沢さんの縁組によって5月17日に行われた正博さん、景子さんの結婚式

縁組世話人報奨制度

* 世話人第1号 *

高沢さんに報奨金交付

結婚のお世話をしていただいた方に報奨金を差し上げる「縁組世話人報奨制度」が四月からスタートしましたが、このほど第一号の「縁組世話人」が誕生、町が報奨金を贈呈しました。

この制度は、年齢が進み結婚相手を見つけることが難しくなっている三十歳代の未婚男女を対象とし、結婚の相手が町外の場合は五万円、町内の場合は三万円の報奨金を縁組世話人に交

付するものです。

この制度の第一号の適用となったのは高沢清吉さん（葦沢）で、近所に住む佐藤正博さん（30歳）にお隣りの羽後町から長谷山景子さん（25歳）を世話していただいたものです。結婚式は五月十七日有鄰館で高沢さんご夫妻の仲人によって行われ、高沢さんはご両家はじめて親族から感謝の言葉を寄せられていました。

嫁・婿不足は本町では古くて新しい深刻な問題です。現在本町では三十歳以上の未婚者が百三十人を超え、年々数が多くなっています。「縁組世話人報奨

縁結んだ陰の努力

世話人の高沢さんに聞く――

縁組世話人報奨制度第一号の適用となった高沢さんは、「二年ほど前に佐藤さんから嫁さんを探してほしいとの依頼があり、さっそく知り合いを頼って探したところ景子さんに巡り会えた。



高沢清吉さん

二人を会わせたとところお互い気に入り、以後一年ほど交際を続けゴールイン。しかし、相手方のご両親が、長男がまだ結婚していないということで反対。ところが、本人同士の恋愛が強まり相手方ご両親の反対を押し切った結婚だった」と話し、「相手方ご両親にすまない気もするが、結婚した以上円満な生活を送ってほしい」と話していました。

高沢さんはこの縁組のため相手方の家を十数回往復したとい、こうした世話人としての陰の努力が縁を結び付けてくれたものと思われま。



町助役から報奨金を受けとる高沢さん(左)

ご存知ですか

靈感商法

「ただいま無料で手相を拝見させていただきます。印鑑を作

いております」などと言っ

て、各家々を訪問し、「あ

なたの手相は、不幸が起るこ

とを暗示しています。印鑑を作

って災難避けをしないさい」とか

「悪霊が取りついていて。この

ままだと家系が絶える。この壺

を買って悪霊を振り払いなさい」

などと人を不安にさせて高額な

商品売りつけるものです。

これらの中には、巧みに資産

内容を聴きだしておいて、「一括

払いをしないとご利益がない」

とか「購入したことを知人や家

族に話すとご利益が薄れる」な

どとクーリングオフ（無条件解

約）を免れる方便を吹聴するな

ど巧妙悪質なものもあります。

靈感商法の場合、一般的に印

鑑の販売に始まり、不安をあお

ることによって壺や多宝塔など

高額な商品へエスカレートさせ

ていくケースが多く、靈感商法

での平均購入額は印鑑五十四万

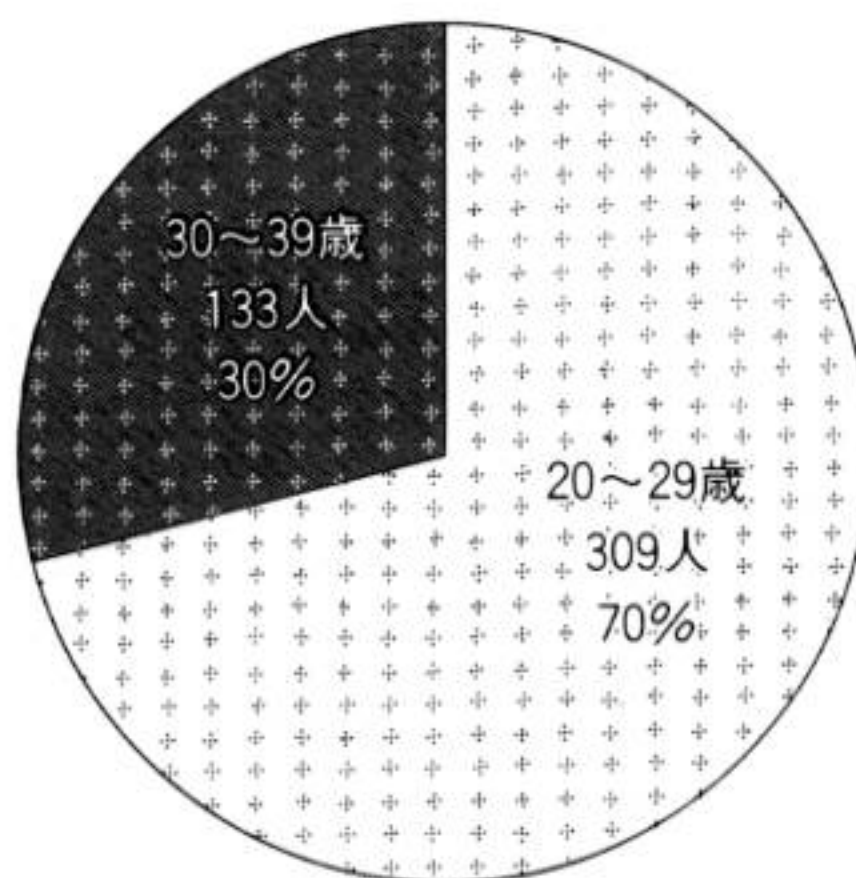
円、壺百四十七万円、高麗人參

十五万円、多宝塔九百一十一万円

20歳以上未婚者数

158人 (男96人・女62人)	20～24歳
151人 (男122人・女29人)	25～29歳
78人 (男71人・女7人)	30～34歳
55人 (男52人・女3人)	35～39歳

30歳以上未婚者の割合



30歳以上の未婚者は133人 20歳以上未婚者の30パーセントが30歳代

図は本荘由利情報処理センターのコンピュータからはじき出された、最近の二十歳から三十九歳までの未婚者数（離婚した人なども含まれています）ですが、これによると二十歳以上

三十九歳までの未婚者は四百四十二人で、このうち三十歳以上の未婚者は全体の三〇パーセントにあたる百三十三人いることがわかります。

男女別では全体では男が三百四十一人、女が百一

人で、三十歳以上では男百二十三、女十人となっています。ちなみに、昨年一年間の婚姻届出件数は三十三件

で、このうち三十歳以上の方は十二人でした。また、町外から嫁・婿になつてこられた方は十五人でした。

三十歳以上の未婚者が多いのに対して同年

代の婚姻率が低いというこうした現状から、何らかの対応策の必要性に迫られています。結婚問題については個人のプライバシーに係わる部分が多いことからなかなか行政が介入できないのが実情で、現在のところ「縁組世話人報奨制度」が本町の唯一の嫁・婿対策となっています。

30歳以上未婚者にみなさんのお力添えを

三十歳以上で未婚の方のなかには結婚はしたくないと考えている方もいるかもしれませんが、嫁・婿がいらないという方が大半と思われる。

縁組世話人報奨制度では「結婚したいが相手がいない」という方々のために真剣になつて嫁・婿のお世話をしてくださる方が必要です。幸せな家庭、そして町繁栄のために、みなさんのお力添えをお願いいたします。

主な販売手口

	販売の手口	セールストーク
A	病人、病弱の人の弱みにつけこむ	病気がなおる 購入しないと一層悪化する
B	不幸に見舞われた人の不幸につけ込む	不幸から救われる 購入しなければ一層不幸になる
C	宗教的不安感をかきたてる	先祖が地獄で苦しんでいる 家系、血統が汚れている
D	古来からの言い伝え、迷信を強調する	印相が悪い、字面が悪い
E	根拠のないことを強調する	幸せになる 病気にならない、長生きできる

となつており、三十歳以上の主婦が多く被害にあつていますが、くれぐれもご注意ください。

緑と太陽の季節がやってきた。緑がこだまする町。東由利躍動の季節の訪れである。この季節になると、雪深い冬の辛さなど忘れてしまう。緑が目にしみるこの頃になると、この町に住むことの良さと幸せをしみじみと感ずる。町を出た人々が故郷を思い出すのもこの季節。山の緑、土手の桜、小川のほとり、小鳥のさえずる森、家の裏の畑、家の前の田圃。町ではいま、ふるさとの緑

町長随想

「花とみどりのプレゼント」

を植樹。畜産広場に桜、梅を植樹。
○八塩山麓会（会員十三名）
主体に地区住民一八塩ダムに至る道路周辺に桜百八十本を植樹。
○大琴自治会有志一高館山麓

しているなど、各地域で桜や梅など花木を植えようとする植樹の計画が進められていると聞く。さて、町では今年新しく「梅の里づくり事業」を計画したと

したことはない。地域おこしはやる気おこしといわれる。四月三十日朝、役場前で「みどりのプレゼント」が催された。これは、県緑化推進委員会と営

林局、それに町が共催して行ったものである。桜、グミ、ツツジなどの苗木を町民にプレゼントして緑の保全意識を啓発しようとの試みである。このことを知り、町民が早朝から長蛇の列をつくったことを非常にうれしく思った。やがては東由利町一円が花と緑に包まれた自然公園と化し、大自然の庭園ができあがることを夢見つつ。いま望まれているのは心の豊かさである。



アユの稚魚1万 2千匹を放流

子吉川漁業組合による稚魚の放流が、九日ぶりの雨に見舞われた五月二十三日に行われました。今回は六十キ・一万二千匹を町内高瀬川三カ所から放流、久々の雨でうるおいを見せた川の流れに稚魚たちは元氣よく飛び込んでいきました。放流されたアユの稚魚は数カ月後には成魚となり、七月十五日のアユ漁解禁後旬の川魚・味として食卓などに姿を見せるものと思われま



町民ホールに設置された全自動血圧計

腕を入れるだけで 血圧が測れます

腕を入れるだけで簡単に血圧測定ができる全自動血圧計が、役場町民ホールに設置されました。この血圧計は血圧と脈拍数が表示され、データが自動的に紙に記録されて出てくるしくみになっています。気軽にご利用ください。



まちの話題

老方が10年ぶりに優勝

青年駅伝大会で5チームが健脚競う



6区間28.1キに健脚競った青年駅伝(写真・3区)

春恒例の町連合青年会主催第27回青年駅伝大会が五月五日、住吉、玉米、老方、蔵の各青年会と宿青年会OBの五チームが参加して行われました。
好天に恵まれ、各チーム選手とも六区28・1キに健脚を競い合った結果、老方青年会が二位の宿青年会OBに1分58秒の差をつけ十年ぶり二度目の優勝を飾りました。各区間トップ(一位)は次のとおりです(敬称略)。

1区	5・3キ	佐藤 博和・住吉	20分51秒
2区	4・7キ	長谷山 順一・宿	18分39秒
3区	5・6キ	畠山 繁光・老方	21分06秒
4区	3・5キ	佐々木 安彦・宿	13分44秒
5区	4・8キ	鈴木 和雄・蔵	19分57秒
6区	4・2キ	福田 清一・老方	15分14秒

「産業文化祭」にアイデアを!

町の生活文化祭が今年から「産業文化祭」と名称を変え、「農協祭」と合同で行われます。このため現在町と農協がプロジェクトチームを結成してイベントを検討中です。

期日は10月31日から3日間で、イベントの内容は、展示部門ではこれまでとあまり変わりありませんが、健康増進センターを利用した各種催しが新規に計画されているほか、農産物の即売などが予定されているなどボリュームたっぷりの行事になりそうです。

新規に企画中のイベントをのぞい

てみると、健康づくりの啓発を目的とした「健康づくりの集い」、小・中学生による「生活体験発表会」、中央の有名人を招いての「文化講演会」、前夜祭で「映画会」などのほか、町民マラソン、町づくり町民アイデア展、人形劇フェスティバルなどがあります。

同文化祭の事務局となる町役場企画財政課では、町民のアイデアも取り入れ楽しいものにしていきたいとしていますので、意見・要望をお寄せください。

☎69-2110 (内線38番)

ABS
ホットスタジオ

ホットキャラバン

＝放映のお知らせ＝

6月13日(土)

12:00～

12:45

ABS秋田放送

ABS秋田放送のローカル生番組「ABSホットスタジオ」で本町が紹介されます。話題の人や町の出来事など町民が大勢登場します。お見のがしのないようぜひご覧ください。

児童手当を受けているみなさま
6月中に役場に
提出してください

お済みですか「現況届」

この届け出は、引き続き児童手当が受けられるかどうかを決める大切なものとなります。

「現況届」の用紙は、役場の窓口にあります。六月中の提出をお忘れなく。

なお、今年の一月一日以後に本町に引越してきた人の場合は、「現況届」の他に、以前に住んでいた市区町村の「六十一
年中の所得証明書」が必要となります。

改正された児童手当制度
二番目の子供も
対象になります

児童手当
制度は、昭和六十一年に大幅改正され、児童手当の対象範囲を三番目の子から二番目の子までに広げられました。同時に、三年間で対象年齢が段階的に変わる

ことになっています。今年は、その二年目に当たり、次の子供が児童手当の対象となっています。

二番目の子Ⅱ昭和五十八年四月
二日以降に生れた子
三番目の子Ⅲ昭和五十三年四月
二日以降に生れた子

もし、あなたのお子さんが児童手当の対象で、届け出がまだなかったり、わからないことがありましたら、役場の窓口にお問い合わせください。

問合わせ先▽役場住民係・☎
69-2110（内線53番）

69
|
2
1
1
0
(内線53番)

アンズに人気集中

「みどりのプレゼント会」開催



アンズなど400本の苗木を無料でプレゼント

緑の自然保全を呼びかける「みどりのプレゼント会」が4月30日町役場前で行われました。

県、営林局、町などの主催で八重桜、ドウダンツツジ、ゲミ、アズルの苗木約 400本が先着順に無料配付されたもので、会場には配付一時間前から長い行列がつくられ、特にアズルは人気を呼び配付開始直後品切れとなるなど、あとから駆け付けた人たちをがっかりさせていました。

きれいな花を咲かせてね
今年で4年目「ふれあいの森づくり」

「ふれあいの森づくり」が五月九日八塩ダムいこいの森一角で行われました。

新入学児童とその父兄、新生児父兄らによつて、ツツジ約三百本の植樹が行われたもので今年で四年目。これまで一千本余りが植えられ、赤や白の美しい花を咲かせています。また、参加した新生児父兄全員に同種ツツジを配付、新生児誕生記念に家庭庭先にも植樹してもらいました。



お父さんと一緒に丁寧に植樹

特設人権相談所を開設

日時 6月18日(木)
午前10時～午後3時
場所 東由利町役場 2階
相談員 人権擁護委員——3名
法務局職員——1名

主な相談内容

- 「いじめ」に関する問題
- 土地建物に関する問題
- 登記に関する問題
- 親子、夫婦、扶養、相続、戸籍に関する問題
- 地代、家賃等供託に関する問題
- その他人権擁護に関する問題

みんなで築くよりよい環境

6/5～6/11までは第15回「環境週間」です。住みよい生活環境づくりのためには、一人一人の心がまえが必要です。この機会に、あなたの身の周りを見直してみませんか。



写真は八塩山麓会による桜植樹(4/29)

みんなのひろばは、みなさんに登場していただくページです。
ヤングレポート、われら農業人、お母さんの生活日記、お
達者くらぶなど、自薦、他薦でも結構ですので、広報担当ま
でお知らせください。

「町民になりました よろしく」



日曜日を自宅で浩人さんとくつろぐ
民子さん(右)

●小野民子さん(上里)
今年四月本荘市二十六木から
上里の小野浩人さんに嫁いでき
たばかりの民子さん。町の印象
を「みんな親切で明るくいい人
ばかり。山が好きだから自然が
いっぱいこの町が好き」と話
していました。
看護婦の資格を持ち、佐藤病
院(本荘市)に勤めて今年で五
年目。浩人さんとはいとこの紹

介で知り合い二歳年上です。学
生時代バトミントンやテニスを
していたというところで、健康増
進センターとテニスコートのオ
ーブンをとっても喜んでいました。
「勤めが本荘市で地域の人と
顔を会わす機会が少なく残念で
すが、町民の一人として親しく
してほしい。病院にきたときは
ぜひ声をかけてください」と話
してくれました。
「みなさんどうぞよろしく」

みんなの ひろば



わたしのおかあさん
絵・わたなべまさあきくん
5さい・みどり保育園

ちびっこの①め



— テーマ —

「こんな大人には
なりたくない」

たかゆき
阿部隆幸くん
大琴小・5年

ぼくは大人になったらこんな大人に
はなりたくありません。

まず一つは、お酒を飲んでよっぱら
って道路をウロウロするような大人に
はなりたくありません。あぶないし、
だいいちみっともありません。

それからもう一つは、交通ルールを
守れない大人にもなりたくありません。
少し前、自転車に乗っていてひかれそ
うになったことがあります。その車は
横断歩道の信号が赤でも止まらないで、
もうスピードで走っていきました。

よっぱらってウロウロしたり、交通
ルールを守らないことのないような、
いい大人になって社会に役立ちたいと
思います。

われら 農業人

水田農業確立
対策に挑む

サヤインゲンを栽培

鎌田 武さん・黒淵



転作作物として高収入が期
待されている中の一作物サヤ
インゲンは、県内では鹿角市、
次いで大内町が量産に取り組
んでいます。本町でも昨年
四戸の農家が十アに栽培、十
ア当り五十万円の収入を上げ

まし
た。

このサヤインゲンの栽培に
昨年引き続き取り組んでい
るのが鎌田武さん(黒淵)で、
水田農業確立対策による転作
面積の増加分とあわせ今年は
三アに栽培しました。

サヤインゲンの播種は五月
上旬から七月下旬、収穫は七
月から九月いっぱい、稲作
の作業期とかち合うことなく
行われます。出荷は町農協を
通して主に関東方面に運ばれ、
ハウス栽培などで年間を通し
て市場には出回っているもの
の、旬の野菜として都市在住
者の食卓へ登場しています。
鎌田さんは、「サヤインゲ
ンの栽培、収穫は稲作とかち
合わせないでできることが大
きなメリットだが、収穫時に
比較的多くの労力が必要とす
るため根気のいる作物です。
しかし、全体的に婦人や高齢



下小屋
佐藤シゲさん

『あかあさの生活日記』

(26)

健康で明るい町づくり の躍動を感じて…

用事で台山線を通ったある夜、町の中心地であるその場所、有隣館にも、運営されて間もない健康増進センターにも、もちろん待望のオープンに酔ったテニスコートにも明々と灯りがとまり、何かそこだけが東由利ではないよう

な感じすらさせられました。中でも、夜間照明が辺りを照らしているテニスコートでは、様々な職場でいろんな思いをして一日を過ごしてきたであろう若者たちが、一生懸命に白球を追ひ、その姿を眼のあたりに何とも言われない、ほのぼのとした思いとゆったりした思いに浸されました。一日の疲れも忘れて、それこそいい顔でいい汗を流している様を目にするとき、身体を鍛え、健康で明るい町づくりを”という一番大切な提

唱に向かつて、少しずつ町が躍動をしているように思われました。そして、このような素晴らしい施設の利用から、明日への活力を養い、心身の健康維持増進はもちろんのこと、世代を担う若者の定着と、果ては皇太子、美智子妃ならぬさわかカップルが誕生し、町の今一番の悩みである嫁・婿不足や、老齢化に急ブレーキがかけられ、町の良き運営の下に、明るい話題で一杯になるようお願い、祈りながら愛車を走らせました。



佐藤敬子さん・大吹川
20歳・定男さん長女

ヤングレポート

(37)

「B型ですけど、おとなしくてのんびりしてます」という敬子さんは、富山県の日清紡績(株)を昨年七月に退職しUターン、現在秋田信英(株)で生産管理の仕事にがんばっています。

家族は両親、弟、妹の五人で、「わがままですが弟妹思いのやさしい子です」と、父親の定男さんが話してくれました。笑顔がとてもチャーミングで、結婚は二十三歳ごろにしたいという敬子さんに聞いてみました。

趣味は……レコード、ミュージックテープを聞くことです。今一番欲しいものは……ボーイフレンドです。一番楽しいときは……車でドライブ…ほんとは一人じゃなくて、となりに素敵な人がいたらなあ…なんちゃって。モットーは……人の話しはきちんと聞きましよう。

得意な料理は……野菜いためとサラダです。町への要望をひとつ……お弁当を広げて休日をごせするような、公園みたいな広場があったらいいですね。やさしくて、心の広い人(中村雅俊さんのような)が理想…という敬子さんでした。

お達者くらぶ

—おじゃまします—
老方敬寿会

会員52人の「老方敬寿会」は、町内10単位老人クラブの中でも女性会員が3分の1と少数で、今年会長に選ばれた小松徳蔵さんは、「今年は女性を中心に会員増を図りたい」としています。

会の活動はゲートボールや春と秋の旅行などレクリエーションのほか、町老人いこいの家周辺への菊の植栽と手入れ、神社仏閣の清掃などのボランティア活動で、3年前には祝沢の「笹倉不動滝」を小さな景勝地として整備、現在も会員が交代で保全にあたっています。今月15日は強首温泉への日帰り旅行があり、みんな首を長くして待っていました。

者による作業が可能で、家内労力のある農家には高収入も期待され魅力的な作物ではないでしょうか」と話していました。

町農協によると、今年のサヤインゲン栽培農家は三十一戸と大幅に増え、栽培面積も昨年の約十倍の九十二アまで

拡大されており、今後転作物として定着させていくための栽培指導を強化していきたいとしています。

鎌田さんのいう婦人や高齢者にも栽培可能な作物ということから、高齢人口の多い本町ではもっと振興させたい作物ともいえそうです。



ふるさとを探訪し、グルメをおなかいっぱいに…

第3回 ふるさと交流

今年も8月15日(土)に開催します

第二回ふるさと交流(61・8/15)



町観光協会主催「第3回ふるさと交流」が8月15日に行われます。「ふるさと交流」は、町出身都市在住者に故郷の良さを再認識してもらい、交流を通して地域特産品の販路拡大など町政活性化の契機にしようとしているもので、年々盛り上がりを見せています。

同協会では今年も町内巡り、郷土芸能鑑賞、交流会など盛りたくさんのイベントを準備しお盆の帰省者をお待ちしており、多数の方が参加されるよう在京のご親族の方々へのPRを望んでいます。

イベント

町内巡り▶八塩ダムいこいの森、茶屋長根、湯出野遺跡、岩館のイチョウ、大台高原、誘致企業秋田信英株、白沢トンネルなど
郷土芸能鑑賞▶獅子舞、番楽など
交流会▶郷土の味覚(山菜、漬けもの、ヤマメ・ウグイの塩焼き、スイカ、メロンなど)を着にした懇親会、町民謡同好会のアトラクションなどのほか、魚釣り、テニス・ゲートボールなどのスポーツ交流も検討中…

期 日 8月15日(土)
会 場 台山・健康増進センター、老人憩の家朋楽荘
参加費 大人一人 1,000円
小人一人 500円(小学生以上中学生まで)
参加申込 準備の都合上8月10日までハガキか電話で役場企画財政課☎0184・69・2110内線38番に申し込んでください。

「故郷への感謝」

私が故郷を離れ東京へ出てきてから、はや五十年を越える歳月が過ぎたが、故郷の事を思わぬ日は一日たりと無い。



34



高橋 重雄氏
(蔵出身・71歳)

これまでの生涯を振り返った時、自分が四十年以上に渉り事業経営の第一線に立って働いてくる事ができたのは、故郷の自然の恵みと少年期における先生方の薫陶や諸先輩の感化による所が大きいという事を、歳をとるに従い、ますます強く感じる。

私が故郷で過ごした少年時代の生活は、今と比較したならば、かなり厳しいものであった。とりわけ機械が発達、普及していなかった為に、厳しい自然環境に対し、当時は何もかもほとんど素手で対処していかなければならなかった。田掘りを始めあらゆる農作業は全く人力によっていたし、運搬手段も、あるのは荷車と冬のそり位のもので、収穫物も生活必需品も大概は背中にしよって運んだものだ。子供だった私も親の仕事を手伝い、一通りこうした仕事をしたが、当時としては誰もがやっ

ている事でもあり、別に「辛い」と思う事はなかった。そして今では、これまで長年に渉って大きな病気もせずに仕事を続けてこれたのは、母親が丈夫な体を与えてくれた事と共に、こうした当時の労働を通じて自然と体を鍛える事ができたお陰であると、故郷の自然に深く感謝している次第である。また、体力のみならず、精神力、特に忍耐力を培う事ができた事は、その後の私の人生にとって大きなプラスになった。

現在我が東由利町の状況は、当時とはまさに隔世の感がある。農作業の機械化の進展、道路、交通手段の発達、教育施設を始めとした公共施設の充実等、誠に喜ばしい限りである。今、日本は農業、工業を問わず、これまで例を見なかったような転換期に差し掛かっている。我が故郷でも今後、困難に直面する事があるかも知れぬが、英知を集めてあたるならば必ずや道は開けるものと思う。

最後に、町の一層の発展を心から祈って筆を置きたい。

◇ お住い▼神奈川県鶴見区駒岡町三二七一

保健婦の
やさなか
ヘルスイク
ストレスと上手につき
合ってみませんか
保健婦・伊東志津子

青葉、若葉の鮮やかな季節になると、体の働きも活発になり、心もなんとなく伸びやかな気分になります。しかし、毎日の生活をふりかえってみると「隣の人を見かけるが話す暇がない」とか「話してもあいさつだけ」ということをよく耳にします。めまぐるしい現代社会に適応するために、人それぞれが追いこまれているような気がしま

今月から掲載予定の「町史こぼればなし」は都合により来月から掲載します。

若さの秘密

わたしの場合

俳優 上原 謙

昨年十一月、おかげさまで「喜寿」を迎えたんですよ。家内とふたりの娘を連れてロサンゼルスへ行ってきましたが、つくづく長生きしてよかったなあと思いました。

健康だからできた

260本もの映画出演

振り返ってみると、これまでに二百六十本近い映画に出演したことになりましたが、「二枚目、二枚目」なんていわれてよくも役者稼業を続けてこられたものだと思いますよ。『愛染かつら』(昭和十二年)が代表作だといわれますが、ほんととは好きじゃなかったんですよ。あれはスレ違いのメロドラマです。あの時分は、



体力がないですね。食べものが豊富で、栄養のバランスもよくなっているのに、まるでバイタリティーが感じられない……、運動不足ですよ。ふだんの鍛錬が足りないのだと思います。

私は、二、三日おきに腕立て伏せと屈伸運動を三十回くらいやっています。これはもう、四十年も続けています。腕立て伏せと

ふだんからよく歩き 足腰を強く

いまの若者は、ほんとうに

いつやめようかと、そればかり考えてました。そんな私が、とにもかくにも仕事を続けてこられたのは、何よりも健康だったからです。よ。

屈伸運動はいい運動になりますよ。両腕と足を強くしますからね。ただし、これは思いつきじゃいけません。続けなると効果がありませんし、持続力の鍛錬にはなりません。年をとってくると、最初に弱ってくるのは、やはり足です。よろけるようになったらダメです。そうならないように、ふだんからよく歩き、

腕立て伏せを四十年

足腰を強くしておくことが肝心だと思っています。

当たり前のことを

きちんと長く続ける

家庭の奥さんは、忙しくて時間がないとおっしゃるかもしれませんが、そんなに忙しくても十分やそこの時間をつくれないはずはないでしょう。

努力もしないで怠けていて健康を保とうとか、美しくありたいなんて思うのは、自分勝手すぎるのではないのでしょうか。

家のイスの背につかまって、屈伸運動をするだけでもいいんですよ。当たり前のことを、きちんとやる。そして長く続ける。これが健康のコツだと思うんです。金をかければ健康になれるという考え方には感心できませんねえ。

上原 謙さん略歴

（うえはら・けん）明治42年11月7日、東京生れ。本名・池端 清亮。昭和10年立教大学卒業後、松竹蒲田撮影所に入社。「彼と彼女の少年達」でデビュー後、現在まで約二百六十本の映画に出演。デビュー当時二枚目俳優として活躍。戦後は市井の平凡な中年男を演じ好評を得た。最近「国鉄のツフルムーン」のCMで脚光をあびている。代表作「愛染かつら」「煙突の見える場合」。俳優・加山雄三の父。



伊東夏生ちゃん

大琴・9か月

佐藤志さんと
明子さんの長女

す。家庭の中では、家族一人一人の生活が多様化し、好むテレビの番組も異なるため、二、三台のテレビを備えている家庭もあるようです。個人の生活が尊重される世の中、このままでは家族の絆や地域の連携が薄れていくように思います。ストレス社会と呼ばれる現代では、心の健康の障害となるさまざまな要素が氾濫しています。人は生涯、不安や心配、不満や怒りを胸に秘めて生きる動物のようです。心がカゼぎみだったり、痛んでいる時、身近な人からの暖かい励ましや、思いやりの言葉が何にも優る特効薬となり、人は癒され活力が生みだされるのではないのでしょうか。日々の仕事や生活でストレスを上手に受け入れ、雨に濡れた新緑の景色のようにみずみずしい心で、毎日過ごしたいものです。

「母乳っ子」では、母乳で育っている赤ちゃんをさがしています。自薦、他薦をお待ちしています。（広報係）

戸籍だより

(4/21~5/20届出・敬称略)

お誕生
おめでとう

遠藤 亜紀 (利美・長女) 小倉
アイ子
遠藤 俊也 (茂・長男) 横波
トモ子
鈴木 佑子 (昇・二女) 久保
すみ江

ご結婚
おめでとう

小松 忠孝 山崎
高橋智賀子 下小路
佐藤 企志 本莊市
佐藤 淳子 寺田
小野 浩人 上里
佐々木民子 本莊市
佐藤 正博 津沢
長谷山景子 羽後町

ごめい福を
お祈りします

畠山 眞一(53 直子・夫) 新町
千葉 長喜(40 悦子・夫) 中ノ沢
嶽石 丑松(89 喜市・養父) 五海保
畠山カネエ(67 信治・妻) 蔵(東光苑)
小松 喜保(23 安男・長男) 中通
畠山タカヨ(84 親保・母) 袖山

編集室から

▶ 今月も、お忙しい中ご寄稿くださった皆様ありがとうございました。なかでも佐藤シゲさんには田植のさなか強引にお願いし書いていただきました。ほんとうにありがとうございました。▶ 黄桜まつりを2日間取材し、人出の多さに驚きと感激でいっぱいでした。宴会場におじゃまし写真を撮らせていただきましたが、広報へ載せることを約束し載せかねたものもあり、おわびにご一報いただければ写真を引き伸ばして差し上げます。なお、宴会場にお招きくださった方々、ごちそうさまでした。(小野)

7月1日・畜産共進会
28日・ママさんソフトボール大会・分館対抗三六〇歳ソフトボール大会(予定)
25日・不用犬捕獲日
25日・機能訓練教室(東光苑)
18日・町議会定例会
15日・献血(町内五カ所)
14日・本荘由利農近ゼミ交流会(朋楽荘・12時30分)
13日・コート・13~20時
9~11日・町敬老会
テニス教室(町営テニス)

催し

町民の声を町政に
町長面会日 今月 20日

一人で悩んではいませんか?

心配ごと相談所

● ご利用ください
家庭内のいざこざ、お金のことなど、どんなことでも親身になってご相談にのり、秘密は守られます。

☎69-2110・内線57番

郷土の野草



ヒトリシズカ (センリョウ科)

②7

5月の初旬ごろ、山裾の半日陰の雑木林の縁などを歩いてみると、光沢のある濃緑色で葉脈にそって少しくぼんだ4枚の卵形の葉の中央に、白い紙を細く短かく切って張りつけたような純白の花を穂状につけたこの花を見つけることができます。のどかな鶯の声が聞こえてくる山の中に、ひっそり咲いているこの花を見ると、山歩きで汗ばんだ体に一服の清涼剤を得たような気分になります。“山の中にひとり静かに咲く花” そんなことからこの名がつけられました。成長が割合に早く、4、5日して行ってみると葉も茎も大きくなっているのに驚きます。この草のなかまにフタリシズカがありますが、これは花穂が2~5本ぐらいで、葉にも光沢がありません。開花もやや遅れがちです。これも半日陰の軟かい土を好み、肥料も多少必要です。栽培には腐葉土、油粕などを多めにします。(小松忠正)

町の三三統計 5月 (4/1~4/30)

● 人口 () は前月比 () は1月から累計
・ 男 2,993人(△6)
・ 女 3,089人(△12)
・ 計 6,082人(△18)
● 世帯数
1,453世帯(—)
● 出生5人(19)
● 死亡7人(18)
● 転入15人(40)
● 転出31人(96)
● 結婚2人(2)
● 離婚一人(—)

● 火災発生件数----- 0件(0)
● 救急車出動件数--- 6件(31)
● ゴミ処理量----- 50t (140)
● 健康増進センター利用者数 681人(681)
● 町営テニスコート利用者数 325人(325)
● 有隣館利用者数--- 1,884人(5,653)
● 朋楽荘利用者数--- 1,717人(2,585)
● 交通事故発生件数 2件(7)
・ 死者----- 0人(0)
・ 傷者----- 0人(6)
● 飲酒運転違反者--- 0人(2)

自動車税の納期限は6月30日です。 期限内に必ず納めましょう。 交通事故件数等累計に誤りがあり修正しました